

BeLive

プレゼンテーション プログラム



開催日：2022年2月5日(土)

開催場所：おかやま未来ホール（イオンモール岡市内）

「BeLive」は、高校生の持つ柔軟な発想と岡山に根差す企業・団体の力を掛け合わせたSDGsの取組・発表を通じ、岡山の新しい未来を創造するプロジェクトです。

後 援（敬称略、順不同）

岡山県、岡山県教育委員会、岡山県経済団体連絡協議会、一般社団法人岡山県商工会議所連合会、岡山県経営者協会、岡山県中小企業団体中央会、岡山県商工会連合会、岡山県中小企業家同友会、青年会議所岡山ブロック協議会、国立大学法人岡山大学、大学コンソーシアム岡山、株式会社山陽新聞社、RSK山陽放送、OHK岡山放送、TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送

主催・運営：BeLive実行委員会 / 共催：一般社団法人岡山経済同友会

❖このプログラムは再生紙を利用しています。

実行委員長挨拶

BeLive実行委員長 梶谷俊介



2015年9月、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が国連総会で採択され、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）」が掲げられ、世界各地で誰一人取り残さないことを指針として取組が進められています。

このような時流の中で、私どもBeLive実行委員会は、地域の持続可能な社会の実現を目指し、県内の高校生による「SDGs」への取り組みを応援します。

行政や企業関係者等の前で発表する機会を提供することを通じて、高校生と企業の連携を深め、地域の「SDGs」活動をより活性化させます。高校生が取り組みを通じて地元への愛着や関心を高め、企業情報を知ることによって県内就職を考える一助になると同時に、高校生の自由で柔軟な発想に触れることで企業にとっても新たな視点を得る機会となることを期待します。

高校生と企業・団体が協働し、「岡山発」の活動をさらに推進することを趣旨として、「第2回BeLive」を開催いたします。

実行委員紹介

実行委員長	梶谷俊介（一般社団法人岡山経済同友会 代表幹事）
実行委員	狩野光伸（国立大学法人岡山大学 副理事 SDGs推進企画会議議長）
	藤木茂彦（一般社団法人岡山経済同友会 SDGs研究・推進会議 座長）
	室貴由輝（岡山県教育庁高校教育課 高校魅力化推進室 室長）
	岡山一郎（株式会社山陽新聞社 編集委員室 室長）
	武田憲和（株式会社中国銀行 地方創生SDGs推進部 次長）
	坂越生章（株式会社iプランニングKOHWA 活性化推進室 室長）
実行委員会事務局長	廣野景治（株式会社iプランニングKOHWA 代表取締役社長）

審査員紹介

審査員長	宮長雅人氏（一般社団法人岡山経済同友会 代表幹事/株式会社中国銀行 取締役会長）
審査員	秋政孝一氏（特定非営利活動法人こくさいこどもフォーラム岡山 会長）
	浅沼健一氏（倉敷市役所 企画財政局 企画財政部 企画経営室 室長）
	井戸啓太氏（青年会議所 岡山ブロック協議会 直前会長）
	中村正芳氏（岡山県教育委員会 高校教育課 課長）
	守都未来氏（株式会社オーリス）
	山下陽子氏（語らい座大原本邸 館長）
	吉川幸氏（国立大学法人岡山大学 副理事（高大接続・共創教育・SDGs教育担当））

審査基準

「理念」「持続性」「主体性」「企画力」「統合性」「発信力」「アイデア」の7つの項目を5段階で評価します。尚、同点の場合は審査員の総合的な意見、もしくは、多数決によって決定します。

7つの項目	理 念	誰一人取り残さない、の理念で取り組んでいるか
	持 続 性	岡山県の発展のために継続して実施が可能なものか
	主 体 性	主体的に取り組んでいるか
	参 画 力	ステークホルダーを巻き込んでいるか
	統 合 性	経済・社会・環境における課題解決に取り組んでいるか
	発 信 力	チームの取組を外部に発信しているか
	アイディア	創造性、実用性、革新性

タイムスケジュール

10:00～10:30 受付

10:30～ 開会

審査員紹介／協賛企業紹介

開会挨拶 BeLive実行委員長 梶谷 俊介 氏

11:00～ プレゼンテーション

1. 岡山県立和気閑谷高等学校／子ども健康にし隊
2. 岡山県立津山東高等学校／チーム知和
3. 岡山高等学校・JA全農おかやま／おかやまパルライス
コメ作り×エシカル消費プロジェクト
4. 岡山県立新見高等学校／新見高校 1

11:35～11:50 休憩 (15分)

11:50～ プレゼンテーション

5. おかやまjknote
6. 岡山学芸館高等学校／次世代教育探究ゼミ
7. 岡山県立倉敷鷺羽高等学校／倉敷鷺羽高校 新聞部
8. 岡山県立倉敷商業高等学校／ももさん

12:30～13:30 食事休憩 (60分)

13:35～ プレゼンテーション

9. 岡山県立新見高等学校／新見高校 2
10. 岡山県立倉敷中央高等学校／白ゆり
11. 倉敷高等学校／倉敷高校 商業科
12. 岡山県立興陽高等学校
13. 倉敷市立精思高等学校／精思高校 商業クラブ

14:18～14:33 休憩 (15分)

14:35～ プレゼンテーション

14. 岡山県立和気閑谷高等学校／バンクギャラリー
15. 岡山県立津山東高等学校／チーム上山
16. 岡山高等学校／スパイダーズ
17. 岡山県立新見高等学校／新見高校 3

15:10～15:40 休憩・審査・アンケート記入 (30分)

15:45～ 審査結果発表

各チームへのメッセージ

審査結果発表

審査員長メッセージ 宮長 雅人 氏

16:25～

閉会挨拶 BeLive実行委員 狩野 光伸 氏

参加校紹介



生涯にわたって
健康への意識を持つ児童を育てるために

1. 岡山県立和気閑谷高等学校 子ども健康にし隊

現代の小学生は、幼い頃からデジタル機器に囲まれて生活しているため、外で体を動かして遊ぶ機会が減っています。幼少期の運動習慣がない子どもは、成長したときに「健康のために運動をする」という感覚が育まれないため、健康寿命の低下に繋がる恐れがあります。生涯にわたって健康への意識を持つことができる児童をひとりでも多く増やすために、「外遊びは楽しい!」と感じてもらえるような活動を提供します。



地域の伝統をつなぐ架け橋に

2. 岡山県立津山東高等学校 チーム知和

高齢化・過疎化が進む県北部の地域等において、持続可能な地域社会づくりをしていくために、私たちはSDGsの17の目標のうち『11番・住み続けられるまちづくりを』、『3番・すべての人に健康と福祉を』の2つを大きな目標としてきました。私たち高校生が地域の伝統を次の世代へつなぐ架け橋となり、地域のすべての方が心身ともに健康に生活してほしいという思いを大切に、活動をしてきました。



岡山高校コメ作り× エシカル消費プロジェクトの取り組み

3. 岡山高等学校・JA全農おかやま/おかやまパルライス コメ作り×エシカル消費プロジェクト

岡山高等学校「コメ作り×エシカル消費」プロジェクトでは、瀬戸内市邑久町でコメ作りを行いながら循環型農業や地産地消などエシカル消費について学び、商品の販売や取り組み発表を通して学んだことを岡山県の皆様に広める活動を行ってきました。活動をしていく中でたくさんの学びや発見、そして出会いがあり、出会った方々とともに一步一步前へ進んできました。ぜひ、僕達の発表を聞いて、たくさん学んでいただければと思います。



「いなか留学」で変える新見の未来

4. 岡山県立新見高等学校 新見高校1

少子高齢化や人口減少が社会問題となる中、新見市もその影響を受けています。特に、第一次産業従事者の減少や学校の統廃合は大きな問題となっています。これらの問題を解決するために、私たちは関係人口の増加を目指し、地域の活気創出を目的とした「いなか留学」の実施を提案します。この計画の立案にあたって、私たちは市役所や事業関係者の方々のお話を聞き、様々な視点から「いなか留学」について考えてきました。



ユースセンター

5. おかやまjknote

私達は今年度全国でもめずらしい民間ユースセンター施設の設立の活動に取り組んでいます。これはSDGs 4、11番に当てはまり奉還町商店街に教育の場を作ることにより若者を商店街へ誘導し商店街を活性化させるのが狙いです。前例がないため参考にするべき点が少なく話し合いが止まることもあります。当初は3月に完成予定でしたが設立場所を変え模型等の作り直しもあり苦労しましたが夏の完成に向けて取り組んでいます。



現代における日本の教育

6. 岡山学芸館高等学校 次世代教育探究ゼミ

正確な情報をまとめるため、偏った見方にならないよう、より様々な視点から物事を見るように意識しました。また、先生方や同級生に意見を貰ったりしながら研究しました。時には先生からの厳しい意見も頂き、悲観的なこともありましたが、プラスに捉え、より良い研究になるよう努めました。



エシカルでつながる今と未来

7. 岡山県立倉敷鷺羽高等学校 倉敷鷺羽高校新聞部

今回の取り組みを通して、「エシカル」というキーワードを軸に考えてきましたが、「エシカル」という概念をどう表現するか苦労しました。地域の企業の取り組みを取材したり、地域のボランティア活動にも参加したりすることで、地域の方々の思いを肌で感じました。地域で行われていることを、まずは地域の方や多くの人に伝えたいと思い、「エシカルでつながる」をキーワードに情報を発信することと自分達も行動に移すことを大切にしてきました。



BeLive 倉敷美観地区 ～バトンを受け取るために今考えてみたいこと～

8. 岡山県立倉敷商業高等学校 ももさん

倉敷美観地区を持続可能にしていくために活動を続けられている方々とフィールドワークに参加したり、店舗を営んでいる方にお話をお聞きしたりしています。江戸から令和まで六時代に続く倉敷美観地区には持続可能に暮らすヒントがたくさん詰まっています。それを発信していくことが必要だと思います。



制服のリユース

9. 岡山県立新見高等学校 新見高校2

必要な情報を得るためにアンケートをとり、集計し、制服リユースに関する具体的な数値を割り出して、自分たちの考えをより具体的なものにしました。



地域課題

10. 岡山県立倉敷中央高等学校 白ゆり

本校の使命は、「地域に貢献する生徒を育てる学校」です。1、2年で、水島を訪問するなどして地域を知る活動をしています。それらを発展させるため、7年間、岡山大学と協力し、年2回地域について話し合いをしてきました。そこで出た課題を実践したことを今回発表します。苦労したことは、言葉を引き出すことの難しさや異年齢の方への言葉使いなどのコミュニケーションの取り方です。また大切にしていることは「地域愛」です。



倉敷発信プロジェクト
「くらしき散歩～2つの未来をみつめて～」

11. 倉敷高等学校

倉敷高等学校 商業科

私たちは、「くらしき散歩～2つの未来をみつめて～」と題したフィールドワークの実施を通じて、SDGs11「住み続けられるまちづくり」について一人一人が自分ごととして考える発信を行いました。実施にあたって、ルート・広報活動・発信内容など考え、何度もルートを歩き、いろいろな方々の協力を得て実施にこぎつけました。そして、この企画にたくさんの方が参加してください、広島県の高校からオファーをいただきました。



興陽「ならしか」で挑む!!

12. 岡山県立興陽高等学校

「興陽高校にしかできない」「興陽高校ならできる」を合言葉に、最先端の技術の活用と農の持つ伝統的な技術や文化の継承、そしてこれらを併せ持った可能性を模索しながら、地域の企業や施設とコラボし学校では限界があることをアドバイスや支援をいただきながら取り組んできました。



精思高校SDGsの取り組み

13. 倉敷市立精思高等学校

精思高校 商業クラブ

精思高校全体での取り組みと、私たち商業クラブが取り組んだ内容を発表します。コロナ禍で色々な制約がありましたが、「私たちにできること」に取り組みました。



バンクギャラリー

14. 岡山県立和気閑谷高等学校

バンクギャラリー

元銀行を改装したエンターワケの金庫を仮想してギャラリーにしよう、自分たちの好きなように好きなものを展示できるギャラリーに変えてしまう計画を地域の方と一緒に進めています。金庫を片付け、無機質な空間にペンキを塗り、ピクチャーレールを取り付けて、どんなギャラリーにしようかとワクワクしています。このギャラリーに様々な人が思い思いの展示をして交流の場になればと思います。



「空き〇〇」を最大限に活かして

15. 岡山県立津山東高等学校 チーム上山

持続可能な地域社会づくりを目指し、社会や地域が抱える課題を解決するため、私たちはSDGsの17の目標のうち『11番・住み続けられるまちづくりを』、『12番・つくる責任・つかう責任』の2つを大きな目標としてきました。身近にある「空き〇〇」を最大限に活かし、3Rを意識して活動することで少しでも環境問題の解決に繋がればと考えています。



「学童保育×SDGs」 2年目の取り組みから広がるパートナーシップ

16. 岡山高等学校 スパイダーズ

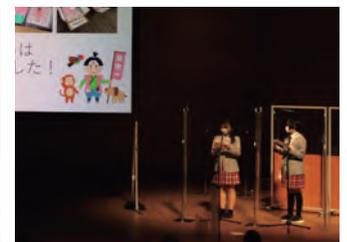
スパイダーズの「学童保育×SDGs」2年目は、コロナ禍によりオンラインでの活動からスタートしました。対面とは異なる難しさもありましたが、メンバーで話し合い、子どもたちを楽しみながら学んでもらうよう工夫していくうちに、距離がどんどん縮まり、大切なことを伝えることができました。自分たちも楽しみながら活動することで、多くの団体さんとコラボする機会をいただいています。パートナーシップを大切に、これからも頑張ります！



廃食用油をバイオディーゼル燃料に

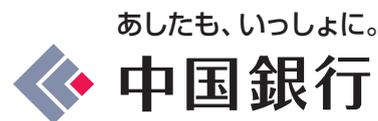
17. 岡山県立新見高等学校 新見高校3

近年、ガソリンや軽油に代わる新たな再生可能燃料が開発されている中、私たちは「バイオディーゼル燃料」に着目し、市内を走る循環バスの燃料を廃食用油を利用したバイオディーゼル燃料に転換することを提案します。この提案を具体的なものにするにあたって市役所の方々にお話をお聞きし、根拠の裏付けとなる情報、データの収集に力を入れました。



第1回BeLiveの様子

協賛企業紹介 (敬称略・五十音順)



ご協賛いただきありがとうございます。